



2023 年

ニュース

7

月号

発行日： 2023 年 7 月 2 日  
発行者： カトリック横須賀三笠教会  
TEL： 046-823-0042  
FAX： 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

「太陽は輝いた～日野弘毅さんの詩を聖書から読む～」

みかさきょうかい しゅにんしさい はまさきまさみ  
三笠教会 主任司祭 浜崎眞実

たいよう かがや ひのこうき し せいしょ よ  
「太陽は輝いた」  
たいよう かがや  
太陽は輝いた  
ねん  
90年  
なが なが くらやみ なか  
長い長い暗闇の中  
ひかり はし  
ひとすじの光が走った  
せんれつ  
鮮烈となって  
かた いわお くだ ひかり はし  
硬い巖を砕き 光が走った  
わたし うつむ  
私は俯かないでいい  
ひかり なか むね は ある  
光の中を 胸を張って歩ける  
わたし うつむ  
もう私は俯かないでいい  
たいよう かがや  
太陽は輝いた

ねん がつ にち よぼうほういけん  
2001年5月11日に「らい予防法違憲  
こっかばいしょうせいきゅうそしやう げんこくしょうそ くまもと  
国家賠償請求訴訟」で原告勝訴の熊本  
ちさいはんけつ だ げんこく  
地裁判決が出されました。そのとき原告の

ひとりひのこうき よ たいよう かがや  
一人日野弘毅さんが詠んだのが「太陽は輝  
し ごげんこく べん  
いた」という詩です。その後原告たちと弁  
ごだん はんけつ かくてい じょうきやう  
護団は判決を確定させるため上京しまし

こっかいぎいん はたら しゅしやうめんだん  
た。国会議員に働きかけ、首相面談を  
じつげん しゅしやうかんていまえ すわ こ  
実現するためです。首相官邸前に座り込  
ぎいんかいかん なか しゅうかい ひら げんこく  
み、議員会館の中で集会を開き、原告と  
べんごし しみん さんにんひとくみ こっかいぎいんひとり  
弁護士と市民の三人一組で国会議員一人  
ほうもん はんけつないやう せつめい こうそ  
ひとりを訪問して判決内容を説明し、控訴  
うった まわ さい  
しないように訴えて回りました。その際、  
わたし ひのこうき く いっしょ なんにん  
私は日野弘毅さんと組んで一緒に何人か  
こっかいぎいん たず  
の国会議員を訪ねたことがあります。そのと  
ひの じぶん ひがひ かた  
き、日野さんは自分の被害を語りました。  
じぶん びやうき かぞく ばらばら  
自分が病気になったため、家族はバラバラに  
はは し た あ こつ ひろ  
なった。母の死にも立ち会えず、お骨を拾う  
かな あね こんやく はだん  
ことも叶わなかった。姉は婚約が破談とな  
ごいえ と だ よぼうほう はいし  
り、その後家を飛び出し、らい予防法が廃止  
ねん あき じさつ  
になった1996年の秋に自殺した、という  
ないやう ひがひ か たしやうそはんけつ かくてい  
内容でした。被害を語り勝訴判決を確定さ  
くに こうそ はたら  
せるため国が控訴しないように働きかけて  
はんけつ かくてい しゃかいふっき  
ほしい。判決が確定したら「社会復帰」して  
じさつ あね で い え  
自殺した姉が出て行かざるを得なかったふ  
いえ せいかつ うった  
るさとの家で生活したい、と訴えたのが  
いんしやうてき ひのこうき はんけつ  
印象的でした。なお、日野弘毅さんは判決  
かくてい あと ほしづかけいあいえん たいしよ しゃかい  
が確定した後、星塚敬愛園を退所し社会  
せいかつ たいちやう くず さい  
での生活をしていましたが、体調を崩し再  
にゅうしよ ねん がつ にち さい  
入所して2017年10月19日に83歳で  
な  
お亡くなりになりました。  
ひのこうき よ たいやう かがや  
日野弘毅さんが詠んだ「太陽は輝いた」と  
し せいしよ しゅちやう かさ よ  
いう詩を聖書の主張と重ねながら読んで  
おも  
みたいと思います。

またい しやう せつ どうじやう  
マタイ5章43-45節。そこに登場する  
たいやう こだいおりえんとせかい ほう せいぎ  
太陽は古代オリエント世界では法や正義の  
しやうちやう ほう ほんらい いま ちつじよ  
象徴で、その法とは本来、今ある秩序を  
まも いじ ぐる  
守り維持するものではなく「グルになってい  
しゅうだん てっていてき かいたい おつ  
る集団を徹底的に解体し、追い詰められ  
ひとり てってい かい  
ているたった一人に徹底して肩入れするも  
こばあきら きゆうやく つえでく  
の」(木庭 顕)です。旧約では「ツエデク」や  
つだかー しんきやうどうやく めぐ わざ  
「ツダカー」、新共同訳では「恵みのみ業」な  
やく いま いすらえる さいせんぼこ  
どと訳されます。今もイスラエルでは賽銭箱  
つだかー せいぎ する  
にツダカー(正義)と記しています。  
あめ うえ みず そうせいしき しやう せつ  
雨は「上の水」のことです。創世記1章7節  
うえ みず した みず わ する  
で「上の水」と「下の水」に分けたと記されま  
しんめいき しやう せつ はい  
す。申命記11章8-12節にはこれから入っ  
やくそく ち うえ みず あめ いぞん  
ていく約束の地は「上の水」=雨に依存する  
しゃかい しゅちやう しん  
社会であると主張しています。それは申  
めいき しやう よ した みず  
命記11章につなげて読むと「下の水」に  
いぞん しゃかい うえ みず いぞん しゃかい  
依存した社会と「上の水」に依存した社会を  
あんじ しゃかいこうぞう かた わか  
暗示して、社会構造を語っていることが解  
うえ うえ みず あめ  
ります。その上で「上の水」すなわち雨に  
いぞん しゃかい やくそく ち りそう  
依存した社会が「約束の地」=理想とする  
しゃかい した みず たいが さ  
社会なのです。「下の水」とは大河を指しま  
たいが いぞん しゃかい ちすいじぎやう  
す。大河に依存した社会では治水事業で  
すいがい ふせ かんがい のうぎやう いとな  
水害を防ぎ、灌漑によって農業を営みま  
かんりやう じやうびぐん ぐんたい  
す。そのため官僚と常備軍(軍隊)による  
おうせい びらみつどが た たてがた しゃかい  
王政、すなわちピラミッド型の縦型の社会  
けいせい ないるがわ  
を形成しました。それはナイル川と  
ていぐりす ゆーふらてす すりやうがわ ふた  
ティグリス・ユーフラテス両河の二つの

たいこく ていこく かた  
大国(帝国)のあり方のことです。そのよう  
な社会構造を否定して、そこから出て(エジ  
プト脱出とバビロン捕囚からの帰還)、この  
東地中海世界で唯一雨の降るカナアン地  
方(今のパレスチナ)へ入るのがモーセ五書  
のシナリオ(筋道)です。そこでは自由と  
平等で独自性が保障される社会、人と人  
とが水平で対等な関係を築くことを理想と  
して「上の水」に依存した社会と表現しま  
す。

またい しょう たいよう あめ しんぼる わ  
マタイ5章の太陽と雨のシンボルは、分け  
隔てなく地上に降り注ぐイメージから神の  
寛大さを表すだけではなく、正義の実現に  
よって人と人が水平で対等な関係で  
生きていける社会のあり方を目指すイエス  
の決意が含まれています。勸善懲悪と因果  
応報の神理解に基づく排除が日常にも  
及んでいた世界に一石を投じたのです。  
現代社会ではダイバーシティ／多様性の  
推進が様々な分野で叫ばれています。しか  
しそこでは差別や排除の状況が見えなく  
され、巧みに隠されてもいます。そのことに  
目を向けることの重要性も指摘されます。  
真に多様性が尊重される社会とは、自助  
努力で「いい人(善人)」になることでも功績  
によって認められることでもありません。ま  
た権力ある者の寛大さに頼ることでもあ  
りません。社会規範から外れていると

み はいじよ がわ ひと にんげん  
見なされ排除された側の人にとって、人間  
としての尊厳が守られることが、差異(ちが  
い)を豊かさとして生かす社会の土台となり  
ます。ハンセン病国賠訴訟の原告の人たち  
は、人生のありとあらゆる発展可能性が  
大きく損なわれ「人生被害」をもたらした  
強制隔離の場から社会の歪みを指摘して  
裁判に立ち上がりました。困っているから  
助けて欲しいのではなく、抑圧と差別をなく  
し人間として対等に生活できる社会を  
求めたのです。

さいばんけいそうちゆう げんこく しょうすうは きび しょうきよう  
裁判係争中、原告は少数派で厳しい状況で  
した。ある人は「感謝を知らないクリスチャ  
ン」などとも揶揄されました。社会の中に今  
もある根深い排除と差別の「厚い壁」、それ  
は死んで骨になってもふるさとへは戻れな  
いということ象徴するものです。それだ  
けでなく、そのこととも連動して被害を被害  
として語れず、療養所のおかげで助かった  
と語る入所者の存在もあります。そのよう  
な「頑固な現実」を日野弘毅さんは「硬い  
壁」と表現したのではないのでしょうか。そ  
こに基本的人権の尊重という光を当てた  
のが熊本地裁判決です。「太陽は輝いた」  
という詩はそのことを詠んだものでしょう。  
この詩を受けて、私たちがどのように応答  
するのかが問われています。療養所の中で  
懸命に生き抜いた人に豊かな文化や高い

げいじゆつせい ある ふか しゅうきょうしん みいだ  
芸術性、或いは深い宗教心を見出して  
た た げんせつ たようせい  
讃える言説があります。それを多様性と  
み ひと しみん かがい たちば  
見なす人もいますが、市民として加害の立場  
じかく くに かくりせいさく  
を自覚するなら、国の隔離政策がもたらした  
ひがい わす  
被害であることを忘れてはならないでしょ  
たようせい だいばーしてい すいしん めかく  
う。多様性／ダイバーシティの推進が「目隠し  
こうぞう はんせんびょうびょうれきしゃ  
構造」となり、ハンセン病病歴者にかかわ

よくあつ さべつ じったい かく  
る抑圧と差別の実態が隠されてしまうこと  
ちゅうい  
がないように注意したいものです。  
はんせんびょう とも い ひと  
ハンセン病と共に生きてこられた人たちが  
う さべつひがい ひがい かつ  
受けた差別被害を被害として語れるように、  
ば つく たようせい ぞんちよう  
そういう場を作ることが、多様性を尊重する  
しゃかい む くだい  
社会に向けての課題でしょう。

## ねん がつ きょうかいいんかい 2023年 6月の教会委員会

おこな きょうかいいんかい ほうこく  
6月 4日(日)に行われた教会委員会の報告です。

### てんれいれき きょうじ かつどう <典礼暦と行事・活動>

ふくいんせんきょうぶかい  
6月 3日(土)福音宣教部会

さんみいったい しゅじつ ねんかんだい しゅう  
4日(日)三位一体の主日(年間第9週)

きょうかいいんかい てんれいぶかい  
教会委員会、典礼部会

きりすと せいたい ねんかんだい しゅう  
11日(日)キリストの聖体(年間第10週)

けんしんしきしききょうみさ いわ  
堅信式司教ミサ、お祝い

ねんかんだい しゅじつ  
18日(日)年間第11主日

まな こうざ きゅうやくぜんしよ よ はまさきし  
11:00 学びなおし講座「旧約全書を読む」浜崎師

きょうかいがっこう  
教会学校

ねんかんだい しゅじつ  
25日(日)年間第12主日

えいごみさ  
英語ミサ 15:00

ふくいんせんきょうぶかい  
7月 1日(土)福音宣教部会

ねんかんだい しゅじつ  
2日(日)年間第13主日

きょうかいいんかい てんれいぶかい  
教会委員会、典礼部会

ねんかんだい しゅじつ  
9日(日)年間第14主日

がいこくせき ひとびと ささ み さ  
「外国籍の人々とともに捧げるミサ」

ねんかんたい しゅじつ

16日(日)年間第15主日

まな こうざ きゅうやくぜんしよ よ はまさきし

11:00 学びなおし講座「旧約全書を読む」浜崎師

きょうかいがっこう

教会学校

ねんかんたい しゅじつ

23日(日)年間第16主日

えいごみ さ

英語ミサ 15:00

きょうかいがっこう か き がっしゅく

28～30日 教会学校夏期合宿

ねんかんたい しゅじつ

30日(日)年間第17主日

かぞくそう ばあい ふほうれんらく ねが  
家族葬の場合の訃報連絡について(お願い)

やくわりぶんたんそうぎ かわしまみちお  
役割分担葬儀(川嶋理夫)

きょうかい そうぎみ さ こくべつしき きんしんしゃ した かたがた かぞくそう おこな  
教会での葬儀ミサ・告別式は、近親者や親しかった方々による家族葬として行うことが  
おお 多くなっています。ほとんどのご遺族は、信徒のみなさんすべてへの訃報連絡は遠慮したいと  
いごう れんらくもう りよう ふほうれんらく おこな せいきよ し かた  
のご意向です。そのため連絡網を利用する訃報連絡が行われませんので、ご逝去を知った方  
ちか かんけい かたがた ふほうれんらく おこな ばあい せいきよ  
が近い関係の方々にそれぞれ訃報連絡を行っているようです。その場合、ご逝去を  
し ほう そうぎみ さ かくにん でんわ きょうかい よ おお  
知った方から、葬儀ミサなどについての確認の電話が教会へ寄せられることが多くなってい  
かぞくそう ばあい ふほうれんらく つぎ おこな  
ます。そこで、これからは家族葬の場合の訃報連絡は次のように行うことにいたします。  
りかい きょうりよく ねが  
ご理解・ご協力をお願いします。

そうぎたんとう かくちくせきにんしゃ れんらく

1. 葬儀担当から各地区責任者への連絡

かぞくそう ばあい ごせいきよ かた なまえ じゅうしよ そうぎみ さ こくべつしき  
家族葬の場合でも、これまでどおり、ご逝去された方のお名前、(住所)、葬儀ミサ・告別式の  
にちじ ばしよ し  
日時・場所などをお知らせします。

かくちくせきにんしゃ

2. 各地区責任者

ちくれんらくもう ところあ かた し

それぞれの地区連絡網にこだわらず、心当たりの方へお知らせください。

せいきよ し かた

3. ご逝去を知った方

そうぎみ さ こくべつしき しょうさい かくにん ばあい しょぞく ちくせきにんしゃ と あ  
葬儀ミサ・告別式などの詳細を確認する場合は、所属する地区責任者に問い合わせるよう  
にししてください。 いじょう  
以上

けん しん しき  
堅 信 式



がつ にち にち じ みさ うめむら  
6月11日(日)10時のミサで、梅村  
しきょうさま むか とうきょうかい ねん  
司教様をお迎えし、当教会では10年ぶり  
けんしんしき と おこな こさめ ふ なか  
となる堅信式が執り行われ、小雨の降る中、  
おお ひと さんか  
多くの方が参加してくださいました。

ひけんしんしき のぞ しょうがくせい せいじん  
この日堅信式に臨んだ小学生から成人ま  
めい さくねん がつ こうぎ  
での16名は、昨年の9月から講義や  
ふいーどわーく さんか じゅんぴ すず  
フィールドワークなどに参加し、準備を進め  
て来られました。

けんしん たいしょうしゃ しょうがくせいこうがくねん  
堅信の対象者には小学生高学年から  
こうこうせい ねんだい おお とく  
高校生にあたる年代が多いことから、特に  
い ちから  
「これから生きるチカラになるもの」を、  
ちいき かたがた かか まじ  
地域の方々との関わりで「交わりとしての  
きょうかい つな おも きかく  
教会」へと繋がるように、との思いで企画  
けんしんじゅんぴこうぎ ぜんぶ かいおこな  
した堅信準備講座を、全部で6回行いまし

ぶかつどう じゅけんしき  
た。部活動があったり、ちょうど受験時期に  
かさ さんか かんたん  
重なっていたり、参加することは簡単ではな  
おも まいかいおお かた さんか  
かったと思いますが、毎回多くの方が参加  
していました。

ちが ふんいき なか みさ はじ  
いつもとは違う雰囲気の中、ミサが始ま  
とく さいぜんれつ じゅけんしゃ みな  
り、(特に最前列の)受堅者の皆さんは、  
きんちよう  
緊張されていたことでしょう。

とうじつ きりすと せいたい さいじつ  
当日は「キリストの聖体」の祭日なので、  
しきょうさま きょう とくべつ べねでいくと  
司教様は、「今日は、特別にベネディクト16  
せいきょうこう いただ しきょうゆびわ は  
世教皇から頂いた司教指輪を嵌めてきま  
ゆびわ しょうめん か ぱりかん  
した。指輪の正面に描かれているペリカン  
こそだ じ じゅうばん えさ ちようたつ  
は、子育て時に十分な餌を調達できない  
みずか はね め したた ち わ  
と、自らの羽を抜いて滴ったその血を分  
あた そだ しゅうせい せいたい  
け与えて育てる習性から、ご聖体の

しんぼる はなし  
シンボルとされています。」というお 話 から  
はじ つづ えびそーど  
始められ、続いていくつかのエピソードと  
きょうこうふらんしすこ ことば しょうかい  
教皇フランシスコの言葉を紹 介してくださ  
いました。

なが ころなか へ わたし ひと まじ  
「長いコロナ禍を経て、私 たちは人との交  
わりがどれほど大切なものかを実感しまし  
わたし ひと あい であ か  
た。私 たちは、人の愛に出会って変えられ  
そんざい ふっかつ いえす であ できし  
る存在です。復活したイエスに出会った弟子  
あやま むじょうけん ゆる かみ  
たちは、過 ちを無条件に許してくださる神  
あい いつく し たしや とも い  
の愛・慈 しみを知り、他者のために共に生  
ひと か おさなご  
きる人へと変えられていきました。幼子のよ  
じゅんすい ひと おも ころ ひと おも  
うに純 粋な、人を思う 心・人への思いや  
も であ ひと せつ  
りを持って出会う人たちと接することがで  
すば  
きたら素晴らしいことです。」とおっしゃった  
あと わたし ひび せいかつ なか  
後、「私 たちも、日々の生活の中で、こうし  
あい しめ けんしん  
た愛を示していくことができるよう、堅信の  
ひせき とお いの おも  
秘跡を通してお祈りしたいと思ひます。」と  
ことば けんしんしき うつ  
の言葉で、堅信式へと移りました。

しき よこいちれつ なら めい じゅけんしゃ  
式では、横一列に並んだ 16名の受堅者に  
ねん じっかん わたし  
「10年ぶり」を実感したのは、私 だけでは  
ちい はぶにんぐ  
ないでしょう。小さなハプニングはありまし  
がじ しき お じゅけんしゃ  
たが無事に式が終わると、受堅者のみなさ  
ひょうじょう ほっ み  
んの表情もホツとしたように見えました。  
み さしゅうりようご せいどう きねんさつえい  
ミサ終了後は、そのまま聖堂での記念撮影  
うつ しきょうさま しんぶさまがた かこ  
に移りました。司教様・神父様方を囲んで、  
じゅけんしゃぜんいん つぎ だいふ ほ くわ  
まず受堅者全員で、次は代父母も加わって、  
ある かぞく ゆうじん かぎ じかん  
或いは家族と、友人と、など限られた時間の

なか てぎわ さつえい だいふ  
中、手際よく撮影して下さったのは、代父  
つと おおいそが まつしま おうえん  
も務められ大 忙しの松島さんと、応援の  
かめらまん わたべ みさ ぱーてい  
カメラマン渡部さんでした。ミサからパーティ  
かいじょう さつえい  
会 場での撮影まで、ありがとうございます  
た。

ご みかさようちえん ほーる ばしょ うつ  
その後、三笠幼稚園のホールに場所を移し、  
しきょうさま しんぶさまがた さんかしゃみな じゅけんしゃ  
司教様、神父様方と参加者皆で、受堅者を  
いわ ぱーてい じゅけんしゃ  
お祝いしました。パーティでは、受堅者のみ  
きょうかい いわ しな けんしん  
なさんに教会 からお祝いの品(堅信  
しょうめいしよ しよせき ぞうてい ごまいく  
証明書と書籍)を贈呈し、その後マイクを  
わた ひとこと はな  
渡してひとり一言ずつ話してもらいました。  
かんしゃ ことば つづ しんじや かぞく  
感謝の言葉に続けて、「信者である家族がき  
えん こんご じしゃ  
っかけ、これもなにかのご縁」「今後も侍者を  
つづ きょうかい こ  
続けます」「これからも教会 に来られるかは  
ぎょうじなど きょうかい  
わからない」「なにか行事等があれば教会  
き どうとう きちよう なま こえ  
に来ます」等々、それぞれ貴重なナマの声を  
き  
聞かせてくれました。

けんしん う ぱーてい  
堅信を受けられたみなさん、パーティでもお  
はな こんご じゅんびこうぎ  
話ししましたが、今後これまでの準備講座を  
ほかん きかく あんない  
補完するような企画をご案内しますので、ぜ  
ひ つづ さんか ま  
ひ引き続いてのご参加をお待ちしております  
す！

さいご じゅけんしゃ いの ささ  
最後になりましたが、受堅者への祈りと支え、  
けんしんしきみ さ ぱーてい きょうりよく  
堅信式ミサとパーティへのご協 力、ありが  
とうございました。  
せいどうない ぎせき せつえい てんれい じゅんび  
聖堂内の座席の設営や典礼の準備をして  
かたがた ぱーてい かいじょう  
くださった方々、パーティのために会 場を



か みかさようちえん せんせいがた  
貸して下さった三笠幼稚園の先生方、  
しょくじ の もの ようい  
食事や飲み物を用意して下さった  
ふいりびんこみゆにてい わんこいんたんとう  
フィリピンコミュニティ、ワンコイン担当の  
かたがた ぜんじつ かいじょうじゅんぴ しゅうりょうご かたづ  
方々、前日の会場準備と終了後の片付

か ほんとう おお  
け、ここでは書ききれないくらい、本当に多  
かた きょうりよく あらた  
くの方にご協力いただきました。改めて  
かんしゃもう あ  
感謝申し上げます。

けんしんじゅんぴち ー む  
(堅信準備チーム)





# FLORES DE MAYO

2023.5.28

ころな なかひさ かいさい ふろれす で まよとうじつ あめ な ひと き  
コロナの中久しぶりに開催しました。フロレス デ マヨ当日は雨も無くたくさんの人に来て  
にほんじん かた さんか どれす き こうしん みさ  
もらい日本人の方にも参加してもらいました。みんなドレスを着て行進してからミサを  
おこな みさしゅうりようご げーむ こどもたち よろこ おとな いじょうよろこ  
行いました。ミサ終了後はゲームなどをし子供達も喜びましたが大人はそれ以上喜んで  
らいねん かいさい おも ぜひさんか くだ  
いました。また来年も開催したいと思いますのでみなさん是非参加して下さい。







ふらわーおふえりーさんかふぁみりーたいけんだん  
フラワーオフィー参加ファミリー体験談

はじ めて ふらわーおふえりー に 子 ども たち と 参 加 さ せ て い た だ き ま した。

み な さん、 けっこんしき の よう に 華 や か で、 ま ず 驚 き ま した。 気 後 れ す る 私 たち に、 た く さ ん の 人 が  
こ え を か け て く れ、 ど き ど き し な が ら 参 加 …。

ま り あ さ ま ぎょうれつ の あ と、 英 語 の ミ サ。 和 気 あ い あ い と、 神 父 様 の 問 い か け に 皆 さん 思 っ た こ  
と を 声 を 出 し て 答 え た り、 何 度 も 笑 い が 起 こ っ た り と い う 楽 し い ミ サ で し た。(子 ども たち に は  
くぎょう の よう で し た が)

こ 子 ども たち の お 楽 し み は ミ サ 後 の お 菓 子 と ゲ ー ム。 子 ども は お お も 大 盛 り 上 が り、 大 人 も 楽 し み ま  
し た。 皆 さん、 気 楽 に 声 を か け て く だ さ っ て、 う れ し か っ た で す。 そ し て、 異 文 化 体 験 と い う、 貴  
重 な 体 験 が で き ま した。

にほんじん も も っ と た く さ ん 参 加 す れ ば い い の に、 と 思 い ま した。 関 わ っ て く だ さ っ た 方 々、 あ り  
が と う ご ざ い ま した。

たけうちなおみ  
竹内直美

福音宣教部会からのお知らせ

(一部、部会仲間の力を借りて、今回の文章を書きます😊)

今回も浜崎神父様が、新聞や小冊子などをご用意下さり、LGBTの問題、神学と第二バチカン公会議、生活保護、障害者が生きる意味を学びました。その中でも、輸血拒否の問題について紹介します。小児科医が、宗教を理由に親が子どもへの医療を拒むケースを、毎日新聞で語っていました。一つは生後3日の新生児、二つ目は2歳の女の子が、診療の結果輸血が必要だと親に話したのですが、親がエホバの証人だったために拒否されたというものです。信仰心は他人がどうこうできるものではありません。母親の胸の中に手を突っ込んで「あなたの信じているものは間違っている」と、無理やり変えることはできません。と語っていました。非常に心の痛む問題でした。

～2024年度なにをすべきか？～  
三笠教会の課題をいっしょに考えませんか…

2024年度の事業の見通しはたちました

が、わたしたちはその次の段階を考えてみました。

教皇フランシスコの「世界召命祈願の日」の教皇メッセージより  
「教会は召命のシンフォニーです」と呼びかけています。これは、「神さまが三笠教会だけに与えられた使命を考えなさい」という意味とも考えられます。教皇のことばに従って「出かける教会」になると考えると、三笠教会という神さまに与えられたこの場所の特殊性についても感じましょう。

アメリカ軍基地にフェンス1枚で接している教会は、日本中で三笠教会しかないと思います。そして、浜崎神父様がよくおっしゃっている「記念艦『三笠』と米海軍基地に挟まれた三笠教会」とは、このことになると思います。これらのことから、神さまが与えられた召命とは何かを考え、実現することで、フランシスコ教皇の「召命のシンフォニーに加わりなさい」という呼びかけに応えたいと思っています。

ねんど きかく  
《2023年度の企画》

きち まちよこすか へいわ かんが にちじけつてい  
① 基地の街ヨコスカで平和について 考える(日時決定)

げんぱくし いみ せんごてんのうせい  
～原爆死の意味づけと戦後天皇制をめぐって～

こう し めいじがくいんきょういく きょうじゆ しのごき み お こ  
講 師 : 明治学院教育センター教授 篠崎 美生子さん

こうえんないよう おんぞん うらかみはんさいせつ ながさき げんぱくせつりせつ  
講演内容: 温存される「浦上燔祭説」…長崎の原爆摂理説をめぐって

と き: 8月12日(土) 13:00～15:00 (終了後茶話会)

みかさきょうかいせいどう  
と ころ: 三笠教会聖堂

きち まちよこすか かんが つど  
② 基地の街ヨコスカを 考える集い

わか せだい きち まちよこすか じつたい し きかく さんか よこすか じつちたいけん  
若い世代が基地の街ヨコスカの実態を知り、企画に参加して、ヨコスカを実地体験できる

いべんと こーでいねいたー きょうどう じつげん わか せだい  
イベントをコーディネイターとの協働によって実現することをめざしています。若い世代の

さんか おお きたい  
参加を大いに期待します。

いとう ともみ  
(伊藤 智未)

すこ まえ のことになりますが、きょうかいがっこうあて か き たよ ちょうだい しょうかい  
少し前のことになりますが、教会学校宛に下記のお便りを頂戴しましたので、ご紹介いた  
します。 きょうかいがっこう  
(教会学校)

かとりつくよこすかみかさきょうかい にちようがっこう みなさま  
カトリック横須賀三笠教会 日曜学校の皆様

ひがしにほんだいいんさい かい  
東日本大震災ともしび会  
きょうどうだいひょうしばやまけい こ きょうどうだいひょうたちわざしずこ  
共同代表柴山恵子 共同代表達藝静子

ひつかつ  
ご復活おめでとうございます。

れいねん とお か はや さくら かいが せいてんづつ さくら うつく たんのう  
こちら例年より10日も早い桜の開花でした。晴天続きで桜の美しさを堪能いたしました。  
いま や えざくら はなみずき さ はじ のやま もえぎいろ しんりよく きせつ  
た。今は八重桜とハナミズキが咲き始めました。野山は萌木色になり、そして新緑の季節を  
むか  
迎えます。

おんきょうかい にちようがっこう みなさま かっぱつ かつやく よろこ もう あ  
御教会の日曜学校の皆様の活発なご活躍をお喜び申し上げます。このたびも「ともしび  
かい こころ たかく きふ  
会」をお心にかけていただき、多額のご寄付をありがとうございました。ともしび会のために

にちようがっこう みなさま きゃんでいれい さくせい はんばい たい きふ おく  
日曜学校の皆様はキャンディレイを作成し、販売して多大なご寄付をお送りくださいました  
ことを、リーダーさんより伺いました。私たちは感動いたしました。ご援助を頂いている  
学生たちに伝えさせていただきます。

いま ねんまえ ひがしにほんだいしんさい お とうきょうでんりよくふくしまだいいちげんしりよくはつでんしょ じ こ  
今から12年前、東日本大震災が起こり、東京電力福島第一原子力発電所の事故に  
よって、大きな津波と放射能の拡散、多くの人々は家が流され、仕事を失い、故郷を後  
に避難を余儀なくされました。また若い人々は進学をあきらめなければなりませんでした。  
この10年間で、延べ80名の学生たちが、ともしび会に支えていただきました。福島県だけ  
でなく宮城県、遠く岩手県出身者もいます。現在、在学している学生たちは小学生の  
低学年で被災しました。助け合って、走って津波から逃げました。つくら悲しいときもありま  
した。ある時は水も電気もなく、食事也十分になく不便で不安な生活にも耐えました。

わかもの ゆめ きぼう あた かい がくせい  
このような若者に夢と希望を与えてくださったのはともしび会です。学生たちはともしび  
会の皆様にととても感謝しています。よい友達に出逢い切磋琢磨しながら勉学に励み、  
栄養士、栄養教諭、幼稚園教諭、保育士、社会福祉士、語学、公務員などの資格を取得し、  
イエス・キリスト様のことも学びました。ともしび会の皆様への感謝を故郷の復興のために  
尽くしたい、と考え真剣に勉強しています。

さくねんど 2めい がくせい そつぎょう みるさと かせ ほいくえん い い  
昨年度は2名の学生が卒業しました。おかげさまで故郷に帰って保育園で生き生きと  
働いています。今年度は4名の学生がともしび会のご支援を頂くことになりました。ど  
うぞこの学生たちが、未来の道を切り開いてゆくことができるようにお祈りください。

さいご かせ かんしゃもう あ かとりつくよこすかみかさきょうかい  
最後になりましたが、重ねて感謝申し上げますとともに、カトリック横須賀三笠教会の  
日曜学校の皆様と信徒の皆様の上に復活のイエス様の祝福が豊かに注がれますように、  
お祈り申し上げます。

ひがしにほんだいしんさい かい あつみのりこ  
東日本大震災ともしび会 熱海紀子



きょうかい み にちしき さいだんこうへき じゅうじかぞう  
【教会ミニ知識】 祭壇後壁の十字架像



じゆなん きりすとぞう みかさきょうかい  
ご受難のキリスト像(三笠教会)

5月14日のミサ後、祭壇後壁の十字架が栄光のキリスト像から受難のキリスト像に変わりました。三笠教会には祭壇後壁に掲げる十字架像は2つあり、掲げない十字架像は告解室にあります。聖パウロ修道会サンパウロ公式HPのコラム「キリスト教知恵袋」に「十字架像の変遷」について南雲正晴神父(フランシスコ会)の記事(2021年1月26日)がありますので紹介します。十字架刑はローマ帝国の処刑法の一つだと言われています。主はその上で人類の罪の赦しを願いつつ、ご自分の命を父に捧げられました。主の十字架は受難と死そのものであり、信者にとっては贖いと犠牲のしるしでした。

パウロにとって十字架は神の力・知恵でした(1コリント1・18~25)。しかし十字架像の発展を見ると、最初から十字架がキリスト教という宗教そのものを表わすシンボルではなかったことがわかります。

四世紀、迫害が解け、教会に平和が訪れると、典礼の目覚ましい発展のときを迎えます。それ以前は、むしろ十字架のしるしを公にすることは危険だったのですが、このころから勝利と救いのしるしとして、典礼や教会芸術面において、全く自由に表現することができるようになったのです。本来、キリストの受難と死、贖いのしるしであった十字架は、まさに神の力、救いの勝利、復活の栄光であり、信じる者にとっての希望、喜びのシンボルとなったのです。従ってこれを表現する十字架像が一般的なもので、非常に表徴化された十字架が好んで使われています(装飾的十字架と呼ばれる)。この傾向は今日に至るまで、ビザンチン典礼を中心に東方教会の特徴です。

七~八世紀ごろになると徐々に変化が現れ、受難のキリスト像が描かれるようになります。この傾向はローマを中心とした西方教会に見られ、中世になってよりリアルな受難、そして死のキリスト像へと発展し、本来の復活の勝利、神の力を映す十字架像は影が薄くなりました。そこに中世教会の信仰観の影響が強く表れています。

しかし、ヴァチカン公会議以降の典礼刷新と平行して古代の十字架像が再び脚光を浴び、復活像・祭司像・王であるキリスト像などが使われるようになりましたが、受難と死のキリスト像



がなくなつた訳ではありません。歴史的に十字架の形はさまざまに描かれますが、代表的なものはラテン式十字(両腕を横に広げて立つ人型、受難の表徴)・ギリシャ式十字(縦と横がその中心で交差する正方形、栄光・勝利の表徴)・コプト(エジプト)式十字(アルファベットのT字形、受難の表徴)などがあります。



とりびあ  
【トリビア】

INRI(十字架像の上部に取り付けられた罪状書きの文字)

ラテン語 IESSUS (イエス)、NAZARENUS (ナザレの)、REX (王)、IUDAEORUM (ユダヤ人の)の頭文字です。

栄光のキリスト像(三笠教会)

(「三笠ニュース」編集委員 川嶋理夫)

## 信徒の近況

マリア・グラチア 田畑 純子さん 2023年 5月 18日 帰天

ルチアノ 川畑 匡弘さん 2023年 6月 25日 帰天

